

Hitachi Content Platform

HVFP 連携セットアップガイド

ガイドをよく読み、保管してください。

この装置をご使用になる前に、このガイドに書いてある安全上の指示をよくお読みください。本文中の注意事項を必ずお守りください。

このガイドをいつでも参照できるように、手近なところに保管してください。

対象製品

Hitachi Content Platform

5.0.2-01 以降

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Symantec は、Symantec Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、および商品名は各社の商標、または登録商標です。

発行

2012 年 10 月（第 3 版）K6603795

著作権

(C) 2012, Hitachi, Ltd. All rights reserved.

(C) 2012, Hitachi Data Systems Corporation. All rights reserved.

目次

はじめに.....	9
対象読者.....	10
マニュアルの構成.....	10
マニュアル体系.....	10
関連マニュアル.....	10
このマニュアルでの表記.....	11
このマニュアルで使用する記号.....	11
このマニュアルで使用する構文要素.....	12
KB（キロバイト）などの単位表記について.....	12
カスタマーサービスとサポート.....	12
リモート保守.....	12
1. Hitachi Content Platform の概要.....	13
1.1 Hitachi Content Platform とは.....	14
1.2 Hitachi Virtual File Platform との連携.....	14
1.3 システム構成.....	15
1.3.1 ストレージを共有したシステム構成.....	15
1.3.2 ネットワークを介したシステム構成.....	17
2. HVFP 連携時に必要な設定.....	19
2.1 運用を開始するまでの流れ.....	20
3. トラブルシュート.....	23
3.1 ネットワークを介して連携している場合の障害の切り分け.....	24
3.2 トラブルシュート事例.....	24
3.3 お問い合わせ先.....	26
付録 A 事前準備.....	27
A.1 事前確認が必要な情報.....	28
付録 B HVFP 連携時の HCP システムの上限値.....	33
B.1 上限値一覧.....	34
付録 C 略語一覧.....	35
C.1 このマニュアルで使用している略語.....	36



図目次

図 1-1 テナントや名前スペースと HVFP との対応.....	15
図 1-2 ストレージを共有したシステム構成	16
図 1-3 ネットワークを介したシステム構成	17
図 2-1 作業の流れ.....	20
図 3-1 ネットワークを介して連携している場合の障害の切り分け.....	24



表目次

表 2-1 運用開始までの流れ.....	20
表 3-1 トラブルシュート事例.....	24
表 A-1 事前確認が必要な情報.....	28
表 A-2 設定時にユーザの指定が必要な情報.....	28
表 B-1 HVFP 連携時の HCP システムの上限値.....	34



はじめに

このマニュアルは、Hitachi Content Platform (HCP) と Hitachi Virtual File Platform (HVFP) を連携して、運用を開始するための設定手順および障害発生時の対応について説明しています。

- 対象読者
- マニュアルの構成
- マニュアル体系
- 関連マニュアル
- このマニュアルでの表記
- このマニュアルで使用する記号
- このマニュアルで使用する構文要素
- KB (キロバイト) などの単位表記について
- カスタマーサービスとサポート
- リモート保守

対象読者

このマニュアルは、次のユーザにお読みいただくことを前提としています。

- HCP システムレベル管理者
HCP システム全体に影響するパラメータの管理を行います。
- テナントレベル管理者
HCP システム内にある HCP テナントごとに存在し、その HCP テナントに関する設定の管理を行います。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

章	内容
1. Hitachi Content Platform の概要	HVFP 連携時の HCP の特長や、想定するシステム構成について説明しています。
2. HVFP 連携時に必要な設定	HVFP と連携して運用を開始するまでの設定の流れを説明しています。
3. トラブルシュート	HVFP 連携時の HCP でのトラブルシュートについて説明しています。
A. 事前準備	HVFP と連携して運用するための設定を効率的に進めるに当たり、事前に確認または検討しておく情報を説明しています。
B. HVFP 連携時の HCP システムの上限値	HVFP 連携時の HCP システムの上限値について説明しています。
略語一覧	このマニュアルで使用している略語を示しています。

マニュアル体系

HCP のマニュアル体系を次に示します。

マニュアル名	内容
Hitachi Content Platform HVFP 連携セットアップガイド (このマニュアル)	HCP と HVFP を連携して運用を開始するための設定手順および障害発生時の対応について説明しています。HCP と HVFP を連携するために、最初にお読みいただくマニュアルです。
Hitachi Content Platform Hitachi Adapter for Symantec Enterprise Vault ユーザーズガイド	Hitachi Adapter for Symantec Enterprise Vault (HASEV) を使用して、Symantec Enterprise Vault (Enterprise Vault) と HCP を連携した運用を開始するための設定手順について説明しています。HCP と Enterprise Vault を連携するために、最初にお読みいただくマニュアルです。
Hitachi Content Platform 運用ガイド	HCP を運用するために必要な手順やメッセージなどについて説明しています。

関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

HVFP のマニュアル

- Hitachi Virtual File Platform システム構成ガイド

- Hitachi Virtual File Platform セットアップガイド
- Hitachi Virtual File Platform 仮想サーバ環境セットアップガイド
- Hitachi Virtual File Platform ユーザーズガイド
- Hitachi Virtual File Platform トラブルシューティングガイド
- Hitachi Virtual File Platform シングルノード構成セットアップガイド
- Hitachi Virtual File Platform シングルノード構成ユーザーズガイド
- Hitachi Virtual File Platform シングルノード構成トラブルシューティングガイド
- Hitachi Virtual File Platform コマンドリファレンス
- Hitachi Virtual File Platform API リファレンス
- Hitachi Virtual File Platform メッセージリファレンス
- Hitachi Virtual File Platform ファイルアクセス (CIFS/NFS) ユーザーズガイド

ハードウェアマニュアル

- 日立アドバンストサーバユーザーズガイド
HA8000/RS210-h HM/JM/KM (2012年4月～モデル)
HA8000/RS220 AK/BK/FK/HK/JK/KK/LK (2010年4月～モデル)
HA8000-es/RS220 CK/GK/MK/NK (2010年4月～モデル)
- Hitachi Adaptable Modular Storage 2010 ディスクアレイ ユーザーズガイド
- HT-4990-SW320H/SW360H 形 ファイバーチャネルスイッチ ユーザーズガイド／保守要項

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品の名称を省略して表記しています。このマニュアルでの表記と、製品の正式名称または意味を次の表に示します。

このマニュアルでの表記	製品名称または意味
HCP	Hitachi Content Platform
HVFP	Hitachi Virtual File Platform
Internet Explorer	Windows(R) Internet Explorer(R)

このマニュアルで使用する記号

このマニュアルでは、次に示す記号を使用しています。

記号	意味
[]	ボタン、キーボードのキーなどを示します。 (例) [システム設定] ページ [OK] ボタン [Enter] キー
< >	可変値であることを示します。 (例) <ホスト名>.<ポート番号> 実際のホスト名が「host0」、ポート番号が「1024」の場合、「host0.1024」と指定することを示します。
[]・[]	「・」の前に示したメニューから、「・」の後ろのメニュー項目を選択することを表します。

このマニュアルで使用する構文要素

このマニュアルで使用する構文要素（設定値やファイル名などに指定できる値）の種類を、次のように定義します。

種類	定義
英字	A~Z a~z
数字	0~9
英数字	A~Z a~z 0~9
ASCII 印字可能文字	A~Z a~z 0~9 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { } ~

注 すべて半角で指定してください。

KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）、1PB（ペタバイト）はそれぞれ 1,024 バイト、1,024² バイト、1,024³ バイト、1,024⁴ バイト、1,024⁵ バイトです。

カスタマーサービスとサポート

弊社では、購入後のサポートサービスを提供しています。サポートサービスに関する詳細は、お問い合わせ先まで連絡してください。

リモート保守

HCP のソフトウェアに問題が発生した場合、リモート保守で問題を解決できます。リモート保守では、開発者がインターネット経由でお客様の HCP に接続して、調査および回復作業を実施します。リモート保守の詳細については「Hitachi Content Platform リモート保守適用のお願い」を参照してください。

Hitachi Content Platform の概要

この章では、Hitachi Content Platform の概要や Hitachi Virtual File Platform と連携するときの特長について説明します。

- 1.1 Hitachi Content Platform とは
- 1.2 Hitachi Virtual File Platform との連携
- 1.3 システム構成

1.1 Hitachi Content Platform とは

Hitachi Content Platform (HCP) とは、ほかのシステムで生成された大量のコンテンツをアーカイブして長期的に保管するためのシステムです。データを格納するストレージと、ストレージに格納されたデータを管理する複数のストレージノードで構成されています。

HCP では、文書、画像またはデータベースなどのさまざまな形式のデータを、オブジェクトとして HCP リポジトリに保存します。HCP のシステム管理者は、保存されたオブジェクトの容量を圧縮したり、メタデータ以外のデータが一致しているオブジェクトをマージして重複を排除したりすることで、ストレージの容量を効率的に運用できます。

1.2 Hitachi Virtual File Platform との連携

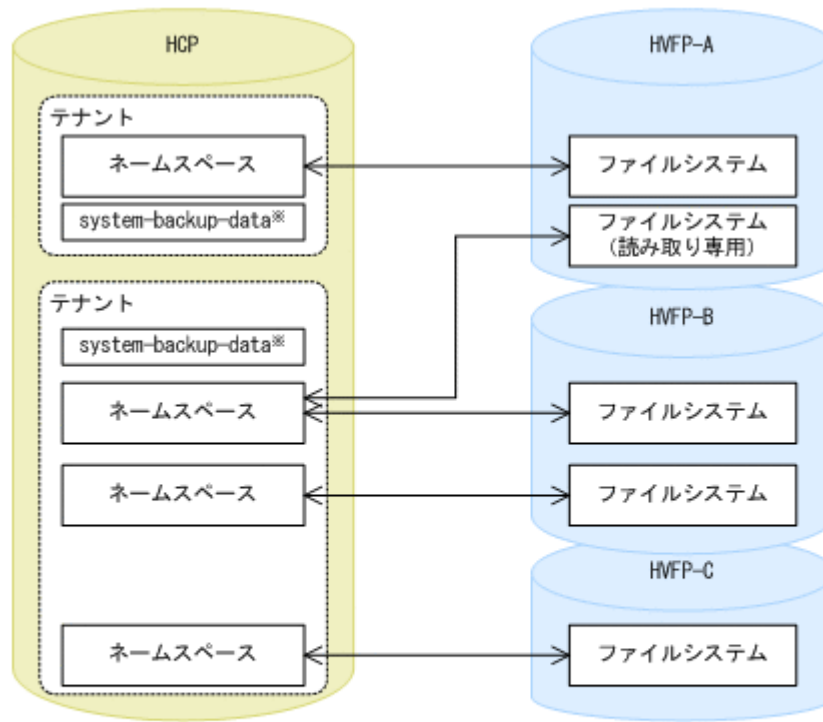
Hitachi Virtual File Platform (HVFP) とは、プラットフォームの異なるクライアントがストレージ内のデータを共有するためのサービスを提供するシステムです。ファイルシステムのデータを格納するストレージと、ノードと呼ばれるファイルサーバで構成され、ノード上のネットワークポートを介してクライアントにファイルシステムサービスを提供します。

HCP と HVFP が連携することで、高性能なファイルシステムサービスを HVFP のクライアントに提供しながら、日々蓄積される大量のデータを HCP で効率的に管理できます。

HCP にマイグレートされたファイルは条件に応じて属性情報以外のデータが削除されるため、HVFP ではファイル数の増加によるディスク容量の圧迫を防ぐことができます。また、頻繁にアクセスされるファイルのデータは HVFP から削除されないため、HVFP のクライアントからの高速なファイルアクセスを継続できます。HCP に格納されているデータには、HVFP を介してアクセスできます。

バージョン 4.0.0-00 以降の HVFP と連携する場合、HCP で作成した一つのテナントに対して、複数の HVFP のシステムを割り当てることができます。また、テナント内の各名前スペースに対して HVFP のファイルシステムをそれぞれ一つずつ割り当てます。HCP のテナントや名前スペースと HVFP との対応を次の図に示します。

図 1-1 テナントや名前スペースと HVFP との対応



注※ システム設定情報ファイルをHCPに保存する場合に必要な名前スペースです。1つのテナントを複数のHVFPで使用する場合は、1つの名前スペースを複数のHVFPで共有します。

1.3 システム構成

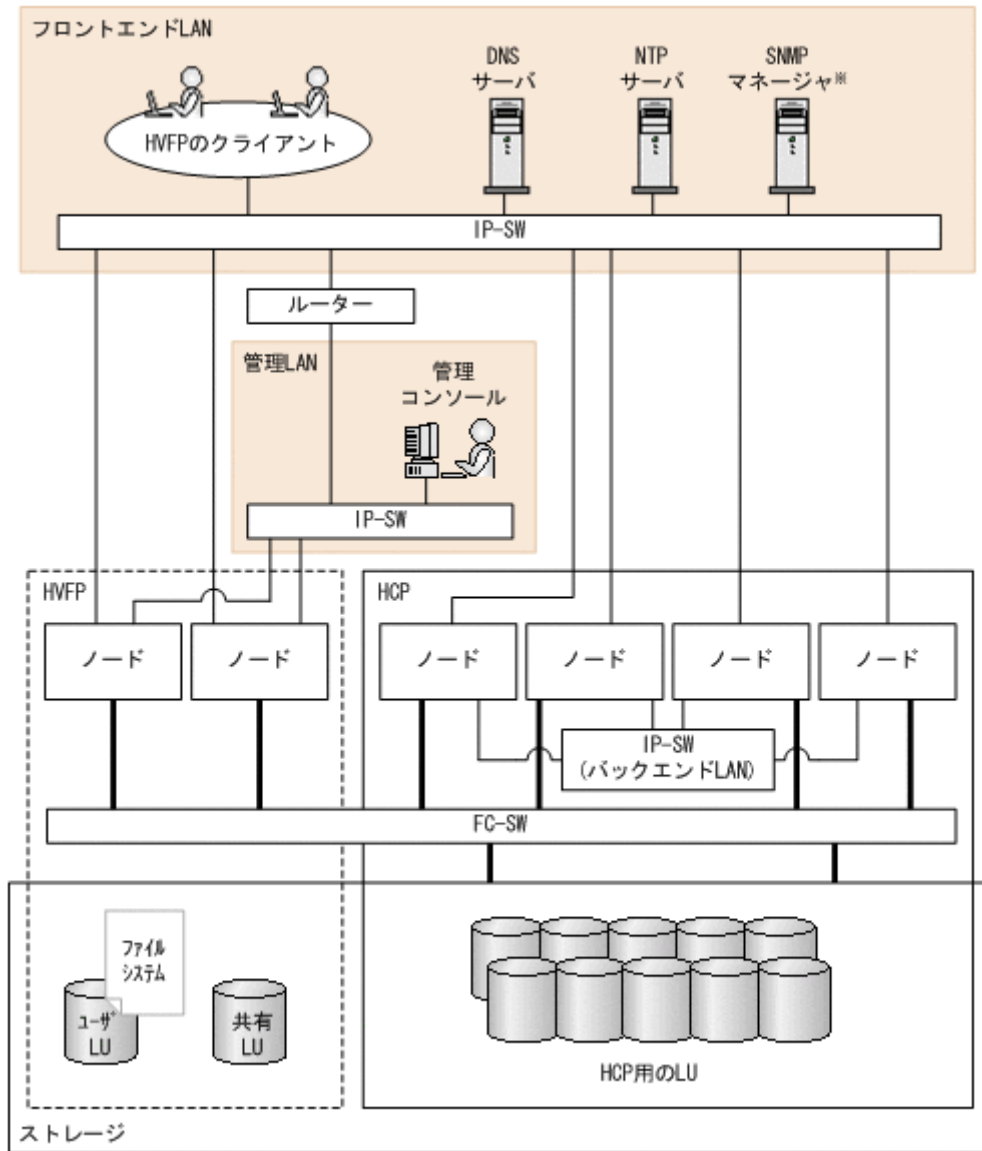
次に示すシステム構成で HCP と HVFP を連携できます。

- ・ ストレージを共有したシステム構成
- ・ ネットワークを介したシステム構成

1.3.1 ストレージを共有したシステム構成

システム構成の例を次に示します。

図 1-2 ストレージを共有したシステム構成



注※ 設置は推奨です。

ストレージを共有して HCP と HVFP を連携するときに必要な条件を次に示します。

- ・ クライアントからのデータアクセスに使用されるポートは、HCP、HVFP ともにフロントエンド LAN に接続してください。
- ・ フロントエンド LAN に DNS サーバおよび NTP サーバ※を設置してください。
- ・ 管理 LAN とフロントエンド LAN の間にルーターを設置し、管理 LAN 上の管理コンソールからフロントエンド LAN 上の HCP に http または https で通信できるように設定してください。また、外部サーバをフロントエンド LAN に設置する場合は、必要に応じて、外部サーバと管理サーバが通信できるように設定してください。
- ・ HVFP の管理 LAN に設置された管理コンソールから、HCP および HVFP を管理してください。
- ・ HCP と HVFP で異なる RAID グループの LU を使用してください。

注※

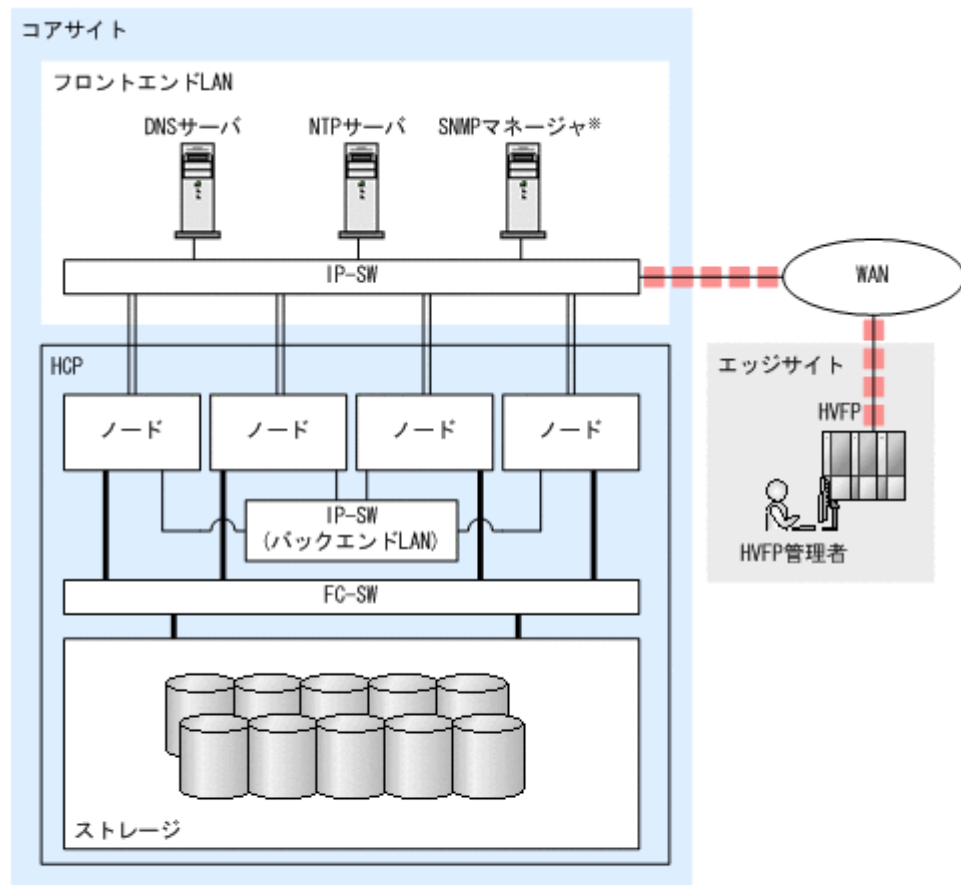
フロントエンド LAN に設置した NTP サーバで時刻を変更したり、別の NTP サーバに切り替えたりする場合、次の点に留意してください。

- HVFP のマイグレーションポリシーで設定した実行時間を避けて作業してください。
- 変更前後の時刻や、切り替え前後のサーバでの時刻の差が 1,000 秒を超えた場合、HCP システムは自動的に再起動されます。

1.3.2 ネットワークを介したシステム構成

ネットワークを介したシステム構成では、分散した拠点で運用されている HVFP のファイルシステムのデータを、ネットワーク（WAN）経由で HCP にマイグレートします。システム構成の例を次に示します。

図 1-3 ネットワークを介したシステム構成



(凡例)

■ ■ ■ ■ : NAT, VPNまたはプロキシサーバによるリモートアクセス

注※ 設置は推奨です。

ネットワークを介して HCP と HVFP を連携するときに必要な条件を次に示します。

- ・ ネットワークアドレス変換機能（NAT）、仮想プライベートネットワーク機能（VPN）、またはプロキシサーバのどれかを使用して、HCP と HVFP 間で通信できるように設定してください。
- ・ NAT を使用して HCP と HVFP 間で通信する場合は、HCP 側のスイッチには DNS-ALG（Application Layer Gateway）の機能が必要です。
- ・ HCP の一つのテナントごとに、HVFP のシステムを割り当ててください。
- ・ HVFP のストレージは、HVFP のシステムだけで使用してください。HCP と共有したり、ほかの用途で使用したりしないでください。

- 各サイトのフロントエンド LAN に、DNS サーバおよび NTP サーバ※を設置してください。
- HVFP の DNS サーバでは、HCP の DNS サーバへのフォワーダーを設定しておく必要があります。
- 各サイトの NTP サーバ間で時刻が同期するように設定する必要があります。

注※

フロントエンド LAN に設置した NTP サーバで時刻を変更したり、別の NTP サーバに切り替えたりする場合、次の点に留意してください。

- HVFP のマイグレーションポリシーで設定した実行時間を避けて作業してください。
- 変更前後の時刻や、切り替え前後のサーバでの時刻の差が 1,000 秒を超えた場合、HCP システムは自動的に再起動されます。

HVFP 連携時に必要な設定

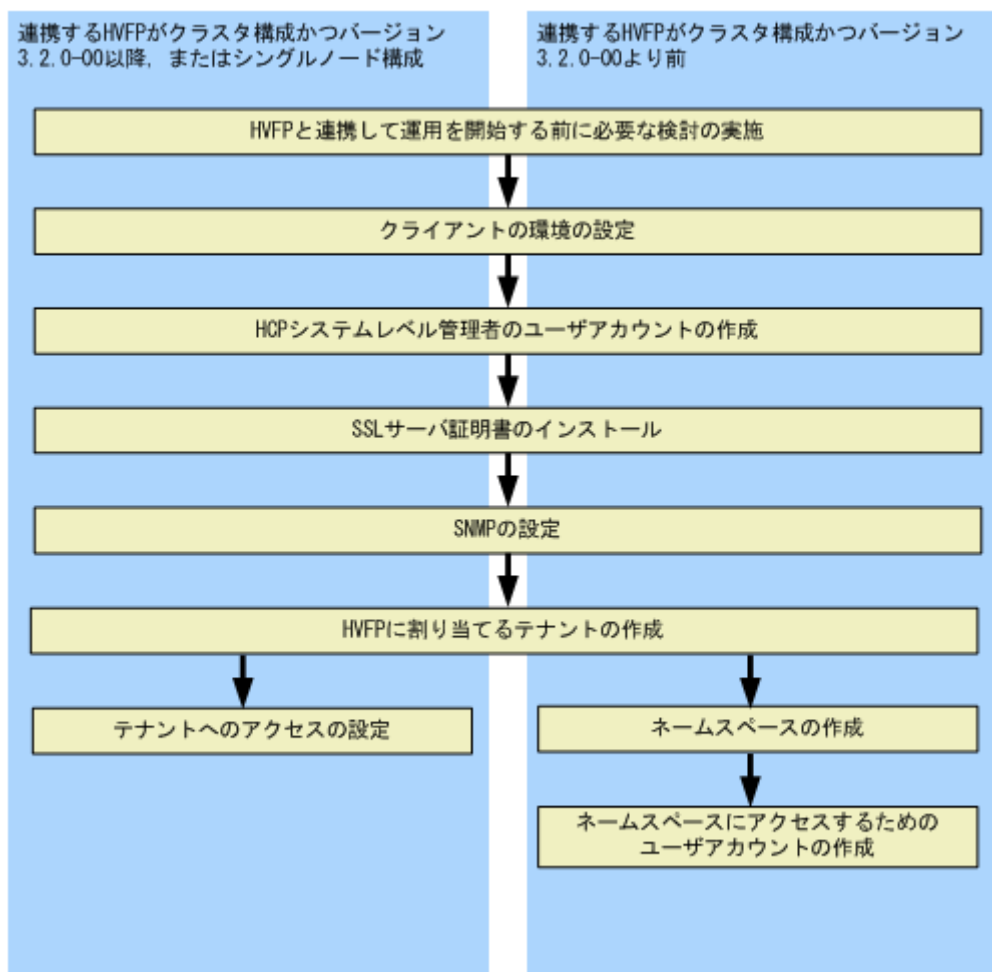
この章では、HVFP 連携時に必要な設定について説明します。

- 2.1 運用を開始するまでの流れ

2.1 運用を開始するまでの流れ

運用を開始するまでの作業の流れを次に示します。なお、設定時には、参照先のマニュアルで説明されている以外の項目のデフォルト値を変更しないでください。

図 2-1 作業の流れ



運用を開始するために必要な作業の説明を次の表に示します。

表 2-1 運用開始までの流れ

作業	説明
HVFP と連携して運用を開始する前に必要な検討の実施	HVFP と連携して運用を開始する前に必要な検討を実施します。設定に関する情報を事前に確認または検討してください。設定情報の各項目については、「A」を参照してください。
クライアントの環境の設定	クライアントの環境を設定します。クライアントのマシン要件を確認し、Internet Explorer を設定してください。マシン要件や Internet Explorer の設定手順については、マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「1. クライアントの環境を設定する」を参照してください。
HCP システムレベル管理者のユーザアカウントの作成	HCP システムレベル管理者のユーザアカウントを作成します。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「2.1 HCP システムレベル管理者のユーザアカウントを作成する」の手順に従って実施してください。
SSL サーバ証明書のインストール	SSL サーバ証明書をインストールします。

作業	説明
	HCP ではデータ通信のセキュリティを確保するために SSL を使用します。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「2.2 SSL を設定する」の手順に従って実施してください。
SNMP の設定	SNMP を設定します。 SNMP の使用は任意ですが、使用して運用することを推奨します。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「2.3 SNMP を設定する」の手順に従って実施してください。
HVFP に割り当てるテナントの作成	HVFP に割り当てるテナントを作成します。 マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.1 テナントを管理する」の手順に従って実施してください。
テナントへのアクセスの設定	連携する HVFP がクラスタ構成かつバージョン 3.2.0-00 以降、またはシングルノード構成の場合に実施します。 HCP 管理 API からテナントへアクセスできるよう設定します。 マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.1.5 HCP 管理 API からテナントへのアクセスについて設定する」の手順に従って実施してください。 HVFP のウィザードで HCP との連携に関する設定をすると、ファイルシステムに対応するネームスペース、システム設定情報ファイルの保存先のネームスペースおよびテナントのユーザアカウントも同時に作成されます。システム設定情報ファイルは、作成されたネームスペースに自動的に定時保存されます。
ネームスペースの作成	連携する HVFP がクラスタ構成かつバージョン 3.2.0-00 より前の場合に実施します。 HVFP のファイルシステムに対応するネームスペースと、システム設定情報ファイルの保存先のネームスペースを作成します。 マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.2 ネームスペースを管理する」の手順に従って実施してください。
ネームスペースにアクセスするためのユーザアカウントの作成	連携する HVFP がクラスタ構成かつバージョン 3.2.0-00 より前の場合に実施します。 作成したネームスペースにアクセスするためのユーザアカウントを作成します。 マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.3 テナントのユーザアカウントを設定する」の手順に従って実施してください。

注意：

HVFP のウィザードを使用して HCP のテナント管理者のユーザアカウントを HVFP に新規登録・変更する際に、HVFP のサービスが一時的に停止します。HCP 5.0.1 ではデータアクセスアカウントはテナントのユーザアカウントに統合されます。HCP 5.0.1 にアップグレードしてご使用になる場合、データアクセスアカウントはロールのないテナントのユーザアカウントにコンバートされます。HVFP のサービスを継続しながらテナント管理者のユーザアカウントを登録する必要がある場合は、すでに HVFP に登録されているテナントのユーザアカウントに対して HCP で [Monitor], [Administrator], [Security], [Compliance] のロールを付与することで対応できます。

トラブルシューティング

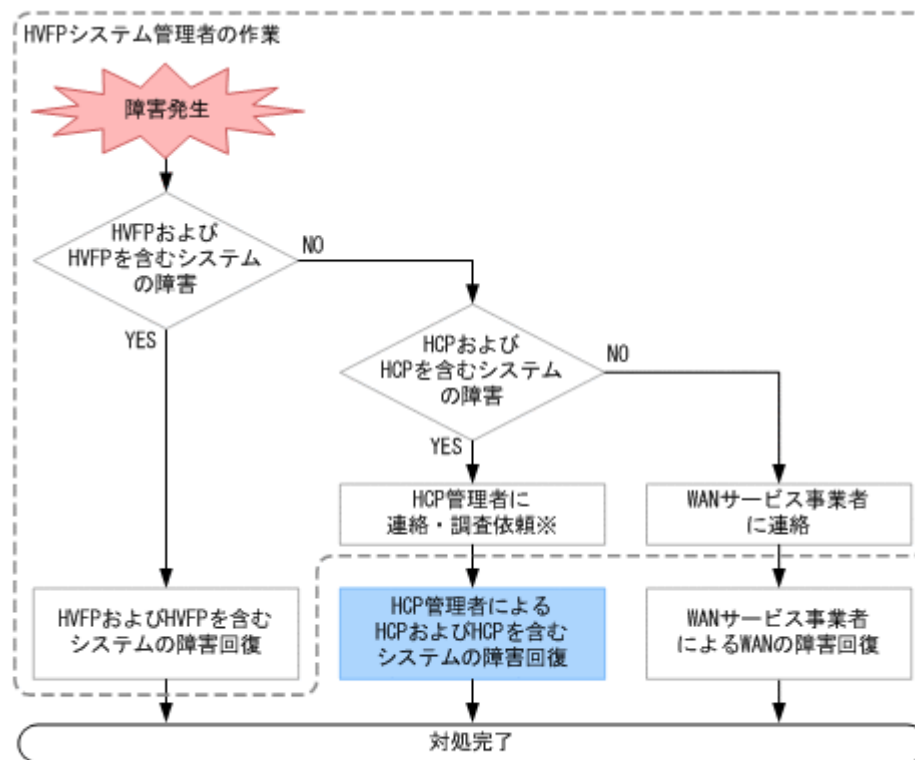
ここでは、HVFP 連携時に発生した障害への対応について説明します。

- 3.1 ネットワークを介して連携している場合の障害の切り分け
- 3.2 トラブルシューティング事例
- 3.3 お問い合わせ先

3.1 ネットワークを介して連携している場合の障害の切り分け

ネットワークを介して HCP と HVFP を連携している場合は、HCP や HVFP のシステムに障害が発生していなくても、システム間の通信の障害によって HVFP のサービスを提供できなくなることがあります。障害の切り分けについて次の図に示します。

図 3-1 ネットワークを介して連携している場合の障害の切り分け



注※ HCPの障害発生に関するエラーメッセージがHVFPで出力されている場合、HVFP管理者からHCP管理者に障害の発生時刻や内容などを連絡します。

3.2 トラブルシューティング事例

HVFP と連携している場合に HCP で発生した問題に対するトラブルシューティングの事例を示します。

表 3-1 トラブルシューティング事例

問題	対処方法
システム管理コンソールにログインできない。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ名およびパスワードが正しいことを確認してください。 初回のログイン用にデフォルトユーザのアカウントが用意されています。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「2.1.1 デフォルトユーザでログインし、パスワードを変更する」を参照して、デフォルトユーザでログインしてください。 作成したユーザアカウントが無効になっているおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「2.1.3 HCP システムレベル管理者のユーザアカウントを変更する」を参照して、ユーザアカウントを有効にしてください。

問題	対処方法
システム管理コンソールで、操作に必要な画面が表示されない。	使用しているユーザアカウントに、操作に必要なロールが設定されていないおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「2.1.3 HCP システムレベル管理者のユーザアカウントを変更する」を参照して、[User Roles] セクションで、[Monitor]、[Administrator]、[Security]、[Compliance] のロールを設定してください。
ネームスペースが必要数作成できない。	作成するネームスペースの容量に対してテナントのハード Quota の値が不足しているおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.2.5 ネームスペースの Quota を変更する」を参照して、テナントの [Hard Quota] フィールドの値を変更してください。
テナントにアクセスできない。	テナント名に、英数字およびハイフン (-) 以外の文字を使用しているおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.1.6 テナントを変更する」を参照して、英数字およびハイフン (-) を使用したテナント名に変更してください。
HVFP からのデータのマイグレーションやリコールが失敗する。	HVFP が使用しているテナントのユーザアカウントに、操作に必要なアクセス権限が与えられていないおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.3.3 テナントのユーザアカウントを変更する」を参照して、ユーザアカウントに、[Read]、[Write]、[Delete] および [Purge] のアクセス権限を与えてください。
ネームスペースの作成時、[Retention Mode] を選択できない。	テナントの設定で、保管モードの選択が許可されていないおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.1.6 テナントを変更する」を参照して、[Retention Mode Selection] オプションのチェックボックスを選択してください。
HVFP からマイグレートされたデータのバージョン管理ができない。	テナントの設定で、バージョン管理が有効になっていないおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.1.6 テナントを変更する」を参照して、[Versioning] オプションのチェックボックスを選択してください。
運用開始後に追加したネームスペースに、テナントのユーザアカウントからアクセスできない。	テナントのユーザアカウントに、アクセス権限が与えられていないおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.3.3 テナントのユーザアカウントを変更する」を参照して、ユーザアカウントに、[Read]、[Write]、[Delete] および [Purge] のアクセス権限を与えてください。
すべてのユーザアカウントの情報(ユーザ名およびパスワード)を紛失した。	お問い合わせ先まで連絡してください。
HVFP の管理者から、HCP へのアクセス時に、リターンコードが 413 のエラーメッセージが表示されたらと連絡があった。	ネームスペースで使用している容量が、ハード Quota の値を超えているおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.2.5 ネームスペースの Quota を変更する」を参照して、ネームスペースの [Hard Quota] フィールドの値を変更してください。
HVFP の管理者から、HCP へのアクセス時に、リターンコードが 503 のエラーメッセージが表示されたらと連絡があった。	システム管理コンソールの [Monitoring] ページの [System Events] タブを表示して、503 のエラーメッセージが表示された時間帯に次のメッセージが出力されていないか確認してください。出力されている場合は、お問い合わせ先まで連絡してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Severity : Notice • Event : Node shut down • Event ID : 1003 Event ID は、対象のイベントメッセージをクリックすると表示されます。

問題	対処方法
システム管理コンソール, またはテナント管理コンソールに「quota exceeded」の警告メッセージが表示された。	ネームスペースで使用している容量が, ハード Quota の値を超えているおそれがあります。マニュアル「Hitachi Content Platform 運用ガイド」の「3.2.5 ネームスペースの Quota を変更する」を参照して, ネームスペースの [Hard Quota] フィールドの値を変更してください。
次のメッセージが表示されたため, ハード Quota の値を変更したいが, テナントに割り当ての空き容量がない。 <ul style="list-style-type: none"> • HVFP から HCP へのアクセス時の, リターンコードが 413 のエラーメッセージ • システム管理コンソール, またはテナント管理コンソールでの「quota exceeded」の警告メッセージ 	HVFP からファイルを削除してください。ただし, HVFP からファイルを削除しても, 対応する HCP のオブジェクトはすぐに削除されません。HCP のオブジェクトは, 直近で実行されるガーベジコレクションサービス (毎日 21:00 に実行) で削除されます。
2 ノード以上が正常に動作していない状態で, システム管理コンソールには「The HCP system is read-only due to metadata unavailability. Configuration changes and changes to namespace content are not allowed, and services have been suspended.」とメッセージが表示されているが, オブジェクトにアクセスできない。	メッセージには読み取り専用と表示されていますが, 実際にはオブジェクトにアクセスできません。対処については, お問い合わせ先に連絡してください。

3.3 お問い合わせ先

日立サポート 360 を契約されているお客様は, サポートサービス利用ガイドに記載されている次の連絡先にお問い合わせください。

- 日立ソリューションサポートセンタ (HSSC)

日立サポート 360 を契約されていないお客様は, 担当営業窓口にお問い合わせください。



A

事前準備

ここでは、HVFP と連携して運用するための設定を効率的に進めるに当たり、事前に確認または検討しておく情報をまとめています。

□ A.1 事前確認が必要な情報

A.1 事前確認が必要な情報

事前に確認が必要な情報を次の表に示します。表 A-1 事前確認が必要な情報に確認結果を記録してください。

表 A-1 事前確認が必要な情報

確認対象	項目	入力値	入力値の条件
HCP	HCP システムの DNS 名		インストール時に設定された DNS 名を入力する。
HVFP	HVFP の管理サーバの IP アドレスまたはホスト名		—
	HVFP で管理している Physical Node の管理ポートの固有 IP アドレス		—
	HVFP で管理している Physical Node の管理ポートの仮想 IP アドレス		—

(凡例)

— : なし

また、設定前に、ユーザの指定が必要な情報を検討しておくことで、効率的に作業を進めることができます。表 A-2 設定時にユーザの指定が必要な情報に検討結果を記録してください。なお、設定時には、このマニュアルで説明されている項目以外は、デフォルト値のまま変更しないでください。

表 A-2 設定時にユーザの指定が必要な情報

項目		入力値	入力できる文字の種類	入力できる文字数	入力値の条件
デフォルトユーザのユーザアカウント	新しいパスワード		ASCII 印字可能文字	6~64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 英字、数字、記号の 3 種類のうち、2 種類以上の文字を組み合わせ指定する。 大文字と小文字は区別される。
HCP システムレベル管理者のユーザアカウント	ユーザ名		ASCII 印字可能文字	1~64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別されない。 先頭の文字に開き角括弧 ([) は使用できない。
	氏名		ASCII 印字可能文字	1~64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別されない。
	パスワード		ASCII 印字可能文字	6~64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 英字、数字、記号の 3 種類のうち、2 種類以上の文字を組み合わせ指定する。 大文字と小文字は区別される。
システム管理コンソールへのアクセス	アクセスを許可する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
	アクセスを拒否する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
SNMP の設定 (任意)	コミュニティ名		ASCII 印字可能文字	1~32 文字	<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別される。

項目		入力値	入力できる文字の種類	入力できる文字数	入力値の条件
	SNMP を経由したアクセスを許可する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
	SNMP を経由したアクセスを拒否する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
	SNMP マネージャの IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
テナント	テナント名		英数字およびハイフン (-)	1～63 文字	<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別されない。 次の文字列は予約済みのため使用できない。「admin」、「default」、「search」、「www」 HCP システム内でユニークなテナント名とする。 ハイフン (-) で始まる、またはハイフン (-) で終わる名称は付けられない。
	ハード Quota		数字およびピリオド (.)	1GB～HCP システム全体の容量の上限	<ul style="list-style-type: none"> 単位で [GB] を選択した場合の最小値は 1, [TB] を選択した場合の最小値は 0.01。
	ネームスペース Quota		半角数字	1～2000	<ul style="list-style-type: none"> HCP システムでユーザが作成できるネームスペース数の上限値は 2000 であるため、HCP システム全体で 2000 を超えないように指定する。
テナントレベル管理者のユーザアカウント	ユーザ名		ASCII 印字可能文字	1～64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別されない。 先頭の文字に開き角括弧 ([) は使用できない。
	パスワード		ASCII 印字可能文字	6～64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 英字、数字、記号の 3 種類のうち、2 種類以上の文字を組み合わせ指定する。 大文字と小文字は区別される。
	新しいパスワード		ASCII 印字可能文字	6～64 文字	<ul style="list-style-type: none"> 英字、数字、記号の 3 種類のうち、2 種類以上の文字を組み合わせ指定する。 大文字と小文字は区別される。

項目		入力値	入力できる文字の種類	入力できる文字数	入力値の条件
	氏名		ASCII 印字可能文字	1～64 文字	・ 大文字と小文字は区別されない。
テナント管理コンソールへのアクセス	アクセスを許可する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
	アクセスを拒否する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
HVFP のファイルシステムに対応するネームスペース※	ネームスペース名		英数字およびハイフン (-)	1～63 文字	・ 大文字と小文字は区別されない。 ・ HCP システム内でユニークなネームスペース名とする。 ・ ハイフン (-) で始まる, またはハイフン (-) で終わる名称は付けられない。
	ハード Quota		数字およびピリオド (.)	1GB～テナントのハード Quota の容量	・ 単位で [GB] を選択した場合の最小値は 1, [TB] を選択した場合の最小値は 0.01。
	古いバージョンのオブジェクトの保管日数		数字	0～36,500 日	—
HTTP プロトコルを使ったネームスペースへのアクセス※	アクセスを許可する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
	アクセスを拒否する IP アドレス		IPv4 に準ずる	IPv4 に準ずる	—
テナントのユーザアカウント※	ユーザ名		ASCII 印字可能文字	1～64 文字	・ 大文字と小文字は区別されない。 ・ 先頭の文字に開き角括弧 ([) は使用できない。
	パスワード		ASCII 印字可能文字	6～64 文字	・ 英字, 数字, 記号の 3 種類のうち, 2 種類以上の文字を組み合わせ指定する。 ・ 大文字と小文字は区別される

(凡例)

— : なし

注※

HVFP でファイルシステム作成時に, 対応するネームスペースが作成されている場合は, ユーザの指定が不要な項目です。

なお, 次に示す項目は, HCP システムレベル管理者の権限で設定できません。設定を変更する必要がある場合は, お問い合わせ先まで連絡してください。

DNS 設定

- システム名 (DNS 名)

ネットワーク設定

- デフォルトゲートウェイ
- フロントエンド LAN の MTU 値
- 各ノードのフロントエンド LAN の IP アドレス
- 各ノードのバックエンド LAN の IP アドレス

時間設定

- タイムゾーン

HVFP 連携時の HCP システムの上限値

HVFP 連携時の HCP システムの上限値を説明します。

□ [B.1 上限値一覧](#)

B.1 上限値一覧

HVFP 連携時の HCP システムの上限値は、システムの構成によって異なります。HVFP 連携時の HCP システムの上限値を次の表に示します。

表 B-1 HVFP 連携時の HCP システムの上限値

項目	上限値	備考
ノード数	4 または 8	固定値です。4 ノード構成の場合は 4、8 ノード構成の場合は 8 になります。
オブジェクト数	1,590,000×HCP ストレージ総容量 (TB)	推奨とする上限値です。
オブジェクトサイズ	2TB	推奨とする上限値です。
テナント数	200	一つのテナントが一つの HVFP に対応します。
ネームスペース数	2,000	—
テナント当たりの管理ユーザアカウント数	200	—

(凡例)

— : なし

略語一覧

ここでは、このマニュアルで使用している略語を示します。

- C.1 このマニュアルで使用している略語

C.1 このマニュアルで使用している略語

このマニュアルでは、次に示す略語を使用しています。

ASCII	American Standard Code for Information Interchange
DNS	Domain Name System
GUI	graphical user interface
IP	Internet Protocol
IP-SW	IP switch
LAN	local area network
LED	light-emitting diode
LU	logical unit
MTU	maximum transmission unit
NAT	network address translation
NTP	Network Time Protocol
OS	operating system
PC	personal computer
RAID	Redundant Array of Independent Disks
SNMP	Simple Network Management Protocol
SSL	Secure Sockets Layer
VPN	Virtual Private Network
WAN	wide area network